



諏訪ユネスコ協会

諏訪ユネスコ通信

第 12 号

発行日

平成 27 年 3 月 31 日

発行者

諏訪ユネスコ協会

編集委員会



挿絵：谷澤信喜

和田嶺(れい)合戦・水戸天狗党浪士慰霊碑

幕末の 1864 (元治元) 年、尊王攘夷(そののうじょうい) を唱え京都に進軍する水戸・天狗党浪士と、高島、松本両藩が戦い、水戸藩の尊攘(そのじょう) 派の戦死者を弔った塚である。

明治 2 年 (1869) 高島藩は浪士のために戦死塚をつくり、翌年には水戸に照会して不動院全海以下 6 名の名を得て碑を建てて供養した。その後地元の人々を中心に年々の祭りをたやまず、25 年祭、50 年祭、70 年祭、90 年祭、100 年祭など催され、今では水戸との交流がなされている。

土偶「仮面の女神」 国宝記念事業

—今、なぜ、『縄文』か—



茅野市湖東、中ッ原遺跡から出土した縄文土偶「仮面の女神」の国宝指定を記念したシンポジウム「—今、なぜ、『縄文』か—」が茅野市主催・諏訪ユネスコ協会後援により茅野市民館マルチホールで12月21日に行われた。

シンポジウムの基調講演に先立ち午前11時より劇団NPO法人劇空間夢幻工房による「5000年目の夕陽～縄文の女神たちの伝言?!～」の演劇が行われた。

シンポジウム第一部は、近藤誠一氏（前文化庁長官）による「日本文化の根源と力」と題する基調講演が行われた。氏はその中で、日本にある五つの国宝の土偶のうち、二つがこの茅野市から出土したことは、縄文当時、八ヶ岳山麓がいかに優れた文化を共有していたかを示すも

ので、極めて興味深いものだ。

その女神の土偶になぜ今、我々はこころ惹かれるのか。それは単なる技術でなく、彼（彼女）らが自然への尊敬の想い、自然への一体感、そうした自然が発するエネルギーにつき動かされて造ったからである。

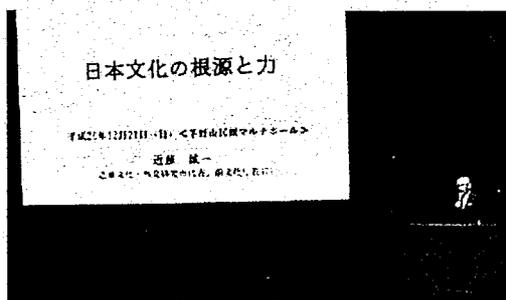
縄文時代は、一般に未開社会というイメージがつきまとうが、果たしてそうだろうか。

現代は、確かに科学技術の進歩により物質的には豊かになったが、人類のモラルは明らかに退化していると指摘した。そして利己主義的な思い上がりが増幅し、自分さえよければ構わないという短視眼的な考え方が横行している。

西洋人は人間の方が自然より偉いという考え方で、すべてが人工的である。それに比べると日本人は自然と調和して、自然と一体という考え方が根底にある。

それはすなわち、縄文人の生活そのものだ。我々はもう一度、縄文人の持っていたモラル・精神性を取り戻さなければならない。そこに問題解決の重要な鍵がある。町や村の伝統的な価値観を生かし、それを発信して行くことが地域を活性化して元気にさせる源になる、と講演を締めくくった。

第二部は「八ヶ岳の自然が培う豊穡な縄文の精神～人はなぜ表現するのか～」と題してのパネルディスカッションが行われた。近藤誠一氏の司会により4人のパネリストが「仮面の女神」や縄文人の表現などについて熱く語った。





縄文研究者の第一人者で国学院大学名誉教授の小林達雄氏は「縄文土器の文様は装飾ではなく、物語性に満ちた彼らの人間観の表われであろう。『仮面の土偶』の奇怪とも言える顔は超人間的なもの、言わば精霊を現わしたものではないか」と話した。

小説家で茅野市在住の原田マハ氏は「表現者の一人として、我々の先祖にこのような縄文文化があったことを誇りに思う。当時は女性が表現をつかさどる社会だったの

ではないか。2体の女神が象徴するように、女性が活躍する市になってほしい」と語った。

国宝「火焰型土器」が出土している新潟県十日町市の関口芳史市長は『仮面の女神』は、豊穡な大地に生きる女性の力強さを感じる。子供の教育現場で、自由に表現できるアートの時間（図工など）が削られつつあることに危惧を覚える」と述べた。

柳平千代一茅野市長は「縄文人は生きることに真剣に向き合っていたことを感じる。考古学、教育、産業など様々な角度から縄文を生かしたまちづくりを進めていきたい」と語った。

縄文文化の魅力と価値を再確認したシンポジウムであった。最後に、一般から募集した歌詞に神山純一さんが作曲した「つないで」と「まあるい星のまあるいムラで」が、市民合唱団により初披露されて閉会した。



国宝：仮面の女神



NPO 法人劇空間夢幻工房による演劇

平成 27 年度定時総会のお知らせ

日 程 平成 27 年 5 月 18 日 (月)

- ・ 総会……………午後 3 時 30 分
- ・ 公開講座…午後 4 時 15 分～5 時 15 分
- ・ 懇親会……午後 5 時 30 分～

場 所 諏訪市「ベルファイン」

- * 詳細につきましては追ってご通知いたします。
- * 多数のご出席をお願いします。

書き損じハガキ回収

寺子屋部会

「書き損じハガキ・キャンペーン 2015」は新規に諏訪清陵中学校が加わり、諏訪地区の全小中学校 48 校で活動を展開した。

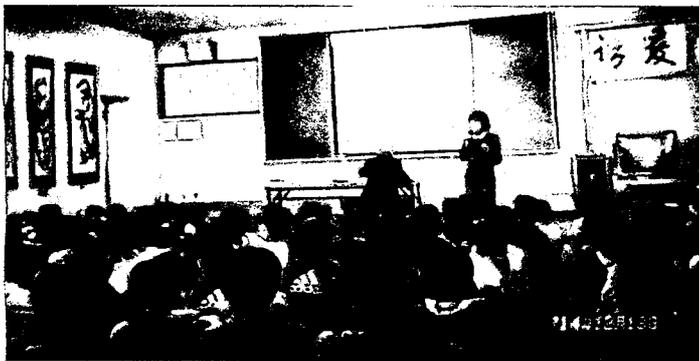
諏訪地区全生徒に配布している世界寺子屋運動「書き損じハガキ回収」を啓発するチラシの他、毎年行われている児童生徒への啓発運動を今年度は茅野市永明小学校で実施した。

去る 12 月 18 日
午前 10 時より 3

時限目の授業として 5 年生 3 クラス約 100 名を対象に行った。

諏訪ユネスコ協会から牛山会長他 3 名が出席し、高林部会長より戦争や内戦で教育システムが崩壊したアフガニスタン・カンボジアや、貧困のため学校にも行けないインド・ラオス・ネパールの子どもの現状を説明した。

「寺子屋運動」により支援を受けて学ぶ機会を与えられた子どもたちが目を輝かせて喜ぶ姿など、映像を交えて紹介した。



生徒たちの、真剣に聞く姿に、純粋さや、感性の豊かさを見る思いがした。

単にハガキを集めるという厚意にとどまらず、寺子屋運動を通してユネスコが伝えようとする真意を子どもたちなりに十分理解できたものと思われる。

= 今年度の「書き損じハガキ回収」報告 =

市町村	岡谷市	下諏訪町	諏訪市	茅野市	原村	富士見町	一般
学校数	12校	4校	12校	13校	2校	5校	
回収数	1,164枚	378枚	2,641枚	1,819枚	442枚	693枚	747枚

回収された「書き損じハガキ」を切手に交換し、協力企業に買い取っていただき現金化し、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟を通じて教育を受けられない貧しい国の子供たちの教育資金とします。回収合計：7,884枚 金額約 35 万円

理事会報告

第43回 理事会 平成26年11月10日(月) 午後6時30分 於；事務局

1. 「中部東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 木曾」への参加報告について
 - (1) 参加報告
 - (2) 交通費の清算
2. 土偶「仮面の女神」国宝指定記念事業への後援について(別紙後援依頼)
 - ・諏訪ユネスコ協会の会員に参加の呼びかけを紙面で行うことを決定。
 - (1) 開催日時：平成26年12月21日(日)
午前11時～午後4時30分
 - (2) 場 所：茅野市市民会館
 - (3) 内 容：演劇
シンポジウム
3. 寺子屋運動「書き損じハガキ キャンペーン2015」の実施について
 - (1) 各市町村教育長・学校長への依頼について
 - ・本年度は清陵中学にも依頼する。
 - ・寺子屋部会部会長が依頼文を用意し、各学校担当者がお願いに上がる。
 - (2) 配布チラシについて
 - ・各地区ごと配布チラシの枚数を確認し用意する。
 - (3) 今後の日程等について
4. ユネスコ通信の発行について
 - ・「書損じハガキ」回収後の発行とし3月とする。
5. その他

第44回 理事会 平成26年12月5日(金) 午後6時30分 於；事務局

1. 寺子屋運動「書き損じハガキ キャンペーン2015」の実施について
 - ・回収は2月10日頃までとする。
 - (1) 各小中学校への依頼及び箱・チラシの配布について……例年通り
 - (2) その他
2. 土偶「仮面の女神」国宝指定記念事業後援に伴う会員出席要請について
 - ・会員の参加依頼文の確認。

期 日 平成26年12月21日(日)
午前11時～午後4時30分

 - ・演劇公演……午前11時
 - ・シンポジウム……午後1時～4時30分
3. その他

第45回 理事会 平成27年1月22日(木) 午後6時30分 於；事務局

1. 寺子屋運動「書き損じハガキの回収」について
 - (1) 各小中学校からの回収は2月10日頃まで
 - ・各地区ごと回収枚数を把握し部会長に連絡する。
 - (2) 感謝状について
 - ・感謝状は例年より早く出していただくよう、本部に依頼する。
 - (3) その他

2. 平成 27 年度定時総会について

(1) 公開講座の講師の検討

- ・ユネスコ協会本部へ、講師の依頼をしたらどうかとの意見があり確認し検討する。

(2) その他 ……日程等次回の理事会にて検討。

3. その他

- ・新入会員 1 名入会（諏訪市）

第 46 回 理事会 平成 27 年 2 月 20 日(金) 午後 6 時 30 分 於；事務局

1. 寺子屋運動「書き損じハガキの回収」について

(1) 回収状況について

- ・次回理事会で最終集計の報告。
- ・勉強会を行った学校は回収枚数も多い。
- ・中学生は生徒会が中心になって行うため集計も 3 月に入る。

(2) その他

- ・本部からの感謝状を各学校にお渡しする。
- ・教育長への礼状を渡す（渡し方は各地区に一任）。

2. 平成 27 年度定時総会について（案）

(1) 開催日時

平成 27 年 5 月 18 日（月） 午後 3 時 30 分より

(2) 場所

諏訪市 「ベルファイン」

(3) 議事

- ・平成 26 年度 事業報告・決算報告・監査報告
- ・平成 27 年度 事業計画・収支予算
- ・会則の一部改正（理事の人数変更等）
- ・役員を選任について

(4) 公開講座

1) 講師について

- ・ユネスコ連盟の本部から講師を依頼する（書面で）。
- ・お礼とし往復交通費・宿泊代を会費で負担する。

2) 講演内容

- ・「ユネスコスクール」について

(5) 懇親会

- ・会費について…… 1 人 4,000 円。
- ・内容…… 昨年同様、立食式で良いのではないか。

3. その他